

会員 各位

(社)宮崎県歯科技工士会

会長 宮永 齊

歯科技工海外委託問題訴訟 「最高裁へ」 冊子送付について

師走の候、ますますご健勝のことと存じます。

今年は政権交代に加えて未曾有の経済不況が重なり、先行き不透明な新年を迎えることになりました。歯科技工士全員が「業界発展のために何を成すべきか」を真剣に考えなければならない時代になったのではないのでしょうか。

さて、歯科技工海外委託問題訴訟でお世話になっている『歯科医療を守る国民運動推進本部』より、標題の冊子30部が本会宛に送付されてきました。同本部の広報によりますと、本部所有の200件以上、数百ページに及ぶ資料の中から、直近の重要項目を選び出して編集し、3,000部を発行したとのことでした。その費用は編集費、印刷費、梱包費、送料で総額50万円(1部あたり167円)だったそうですが、現在は各種団体、各県歯科技工士会宛に全て配布し在庫は無いとのことでした。

そこで、本会は“会員としての知る権利”を尊重し、増刷して全会員に配布することにしました。国民運動推進本部には既に配布された会員の方々から、「貴重な歴史に残る資料が入手できた」「現状が理解できた」等々のお礼の言葉が多数寄せられているとのことでした。

予(かね)てより主張していますように、こうした運動は社団法人日本歯科技工士会が率先して行うべきだと考えていますが、日技執行部は何故か公益性を重要視して動こうとしません。会員の生活も守れない公益法人などナンセンスだと思えますが、現体制を変えない限り如何ともできません。そんな日技に変わって、現在、矢面で闘っているのが『歯科医療を守る国民運動推進本部』です。裁判費用や冊子発行・シンポジウム開催費用は全て有志による浄財によって賄われています。

この冊子を熟読され、“歯科技工物の海外委託問題訴訟”の内容と現状理解を深められることを願っていますが、加えて幾らでもかまいません。某(なにがし)かの浄財を提供して頂ければ幸いに思います。以上、何卒よろしくお願い申し上げます。

《備考》

※ 払込取扱票が本物(30枚)の場合はその用紙に、コピー用紙が入っている方は最寄りの郵便局で入手されてご記入ください。